

【第2報(終報)】三次調整力②の5月19日取引(5月20日受渡分)
において発生した事象について

2024年5月25日
一般社団法人電力需給調整力取引所

三次調整力②の5月19日取引分(5月20日5ブロック受渡分)の取引結果について、東京エリアで募集量を大幅に上回る落札となった事象について、その概要および需給調整市場システムの改修内容をお知らせします。

需給調整市場の約定ロジックでは、複数の制約条件を同時に満たし、かつ最経済となる組合せ(最適解)を商用ソルバ(数値計算に対する分析機能の一つで、指定した様々な制約条件を満たす値の組み合わせを探索する機能)を用いて探索しています。三次調整力②の約定ロジックでは、探索した最適解について、調達コスト最小を目的関数とした上で、同一単価の札に対しては、原則、入札時刻が早い札を優先する最適化計算(OE2)を追加で実施し最終的な最適解を探索しています。

今回5月20日5ブロックにおいて、入札時刻優先の最適化計算において連系線確保量の制約式に矛盾が生じ、本来域外に紐付くべき札が属地に紐付いてしまいました。この矛盾を完全に解消させることは困難であることから、暫定対策として、入札時刻優先を考慮した最適解の計算(OE2)を一時的に撤廃することとし、5月25日取引分(5月26日受渡分)から適用いたしました。(図1参照)なお、同一価格札の優先順位付けについては、週間商品と同様に、ランダム処理となります。

また、恒久対策については別途お知らせいたします。

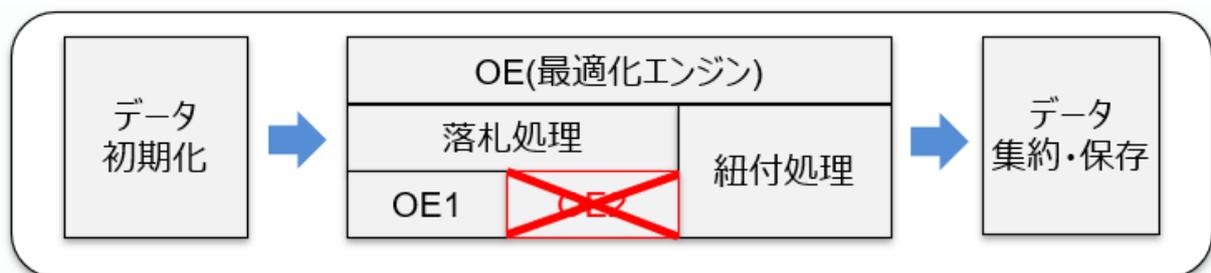


図1. 約定処理のイメージ

以上